

地域担当職員の校区内オススメ紹介します！

難波の梅小学校区

〇地域のシンボル難波八幡神社



難波の八幡さんの歴史

上村宮司からたくさんのお話をお聞きしましたので、ご紹介します！
現在のご本殿は、1688年に創建され、尼崎市の文化財にも指定されています。難波の八幡さんの歴史は4世紀に遡り、約500年前には、今の扶桑町にありましたが戦国の戦火で村が焼け、現在の東難波町に移されました。

～雪と見て 又豊年か 村の梅～

境内には1基の句碑があります。

初代尼崎市長の桜井忠剛(ただかた)の筆にて、摂津国尼崎藩第3代藩主の桜井忠告(ただつぐ)の句「雪と見て 又豊年か 村の梅」が刻まれています。かつて海が近かったこの八幡の地は農業に向かなかったため、保存できる実がなる梅の木が多く植えられたそうです。この句では、梅林の白い花が雪に例えられています。

難波八幡神社で、10月14日、15日に秋祭りが開催されます。皆さんもぜひこの機会にお参りいただき、宮司にお話を聞いてみると、知らなかった難波八幡神社の姿が見えてくるかもしれませんよ。

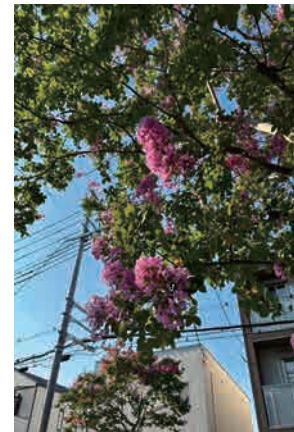


サルスベリ

〇難波八幡神社前の百日紅の木

この時期、百日紅の花がとてもきれいに咲き、町中を彩っています。難波の梅小学校区にもそこかしこに見られ、特に難波八幡神社前の通りがとてもきれいです。

百日紅という名は、「1つの花の咲く期間は短いけれど、次々と枝が伸び、新しい花を咲かすことで、100日間花を咲かす」ことに由来しています。



～～～隠された、悲しい恋の物語～～～

最後に、百日紅に関する悲しい恋のお話を紹介します。

昔ある時、国の王子とある村の娘が出会い恋に落ちました。

しかし王子は村を去らなければならず、「百日後には必ず戻る」と言って旅立ちました。約束の日、王子は村に戻りましたが、娘は亡くなっていました。

王子は嘆き悲しみましたが、ある時、娘のお墓のある場所から一本の木が生え、花を咲かせました。その花は、愛する人を待つように、百日間咲き続けたと言われています。

皆さんもお好きな花の花言葉や歴史を調べてみると、新たな発見があるかもしれません。



難波の梅小学校区担当
うら

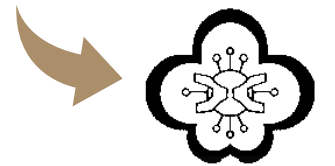
難波小学校区

難波小学校区には梅にちなんだ名所などが点在しています いくつかご紹介します



難波小学校校章

難波小学校の校章は、学校が昔の地名「梅の里」に所在しているところから、梅花を使用。また、尼崎市の浜辺は、昔琴浦と言われていたところから、中心には琴柱(ことじ)を配置しています。創立当時、尼崎第二尋常小学校であったため、2つの琴柱が組み合わせられています。



梅の木公園

梅の木公園では、白梅・紅梅など約40本があり、例年2月上旬ごろから見頃を迎えます。この地域には「難波の梅」という伝承があり、この公園もそれに由来するものと思われます。



～「難波の梅」伝説～

昔『難波の里』(今の東難波町・西難波町)に香り高い梅の木があり、『仁徳天皇』はこの梅の木を特に好まれたので村人は毎年梅の花を献上してきました。あるとき天皇は勅令をもって梅の木を都に移したところ、難波の里の方角の枝だけ花をつけ、他の枝は花をつけなかったことから、再び勅令によって梅の木を元の難波の里に返すと、再び香り高い梅の花をたくさんつけるようになりました。



仁徳天皇の難波の梅、石碑

難波熊野神社には、約20種70本の梅が境内に植えられており、梅の名所として知られる神社です。例年梅まつりが開催され、多くの花見客で賑わいます。

～難波熊野神社の石碑～

難波熊野神社の南側に、難波の梅そしてその右横に石碑があります。その石碑の左上に有名な歌が彫られています。

「難波の梅」が歌に詠まれた難波津の歌(なにわづのうた)です。この歌は、百人一首の序歌(じょか)といわれ、試合開始時に一番最初に詠まれる空札で有名な歌です。



難波津に 咲くやこの花 冬ごもり

今を春べと 咲くやこの花

訳：難波津に梅の花が咲いている。冬ごもりをして、今こそ春が来たといって梅の花が咲いている。

この和歌は、百済から日本に渡来し、儒教や漢字を伝えたという王仁(わに)が仁徳天皇の即位を祝って詠んだ歌といわれています。

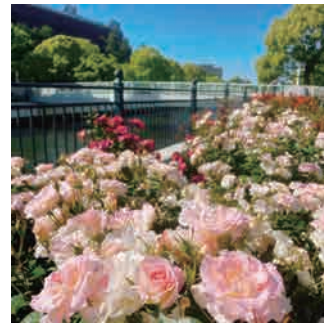


難波小学校区担当
かねだ

地域担当職員の校区内オススメ紹介します！

竹谷小学校区

【色とりどりの花が咲く竹谷】



竹谷小学校区には、お花の見どころがたくさんあるんです！

春は蓬川沿いに約1,000本の桜が咲き、トンネルのようになっています。写真を撮りに行った時もお弁当を食べている方や、お花見をされている方がいらっしゃいました。阪神電車沿線の蓬川沿いにはバラも咲いています。今年からは出屋敷駅南側の藤もキレイに咲きはじめました。

春だけでなく、冬には宮内公園で色々な種類の梅が咲きます。種類によって咲く時期が少しずつ違うようで、長く楽しめるようになっています(梅の写真を過去に絶対撮ったはずなのに見つからず、宮内公園の入口の写真です)。

【地域の憩いの場所が豊かな竹谷】



もう1つのオススメは、福祉会館がたくさんあることです！

竹谷連協内に3つ、北竹谷連協内に1つ、中央連協内に1つと合計5つあります。

中央地域課でも、竹谷小児童の居場所づくり事業「たけやキッズパーク」で、会館を順番にお借りしてとてもお世話になっています。

福祉会館では、子ども食堂や100歳体操、ふれあいサロンなど、地域の方の憩いの場として使われていたり、貸館もされたりしているのでヨガ教室や学習教室、プログラミング教室、絵画教室など様々な使われ方をしています。



竹谷小校区担当
くきの

毎年8月1日・2日の貴布禰(きふね)のだんじり祭りの時期は、祭りに向けてそれぞれの地車保存会が会館を3日間貸切って準備をするなど、竹谷小学校区の福祉会館はだんじり祭りには欠かせない場所となっています。お祭りが近くなると、会館周りにちょうちんがズラーっと飾られる会館もあり、夜になるときれいです♪

期間限定の景色なので、来年のだんじり祭りの時期に意識してみてくださいね^^

明城小学校区

伝統文化を未来に受け継いでいきたい明城小学校エリア

辰巳太鼓

旧辰巳町(現・東本町の一部)が受け持つ辰巳太鼓は、大太鼓を乗せたやぐらの四つ角に梵天をしばりつけた柱が立ち、やぐらを2本の太くて長い担ぎ柱に乗せて担ぐというシンプルな形状の太鼓台です。

毎年8月1日・2日に貴布禰神社で行われている夏季大祭には、辰巳太鼓と8基のだんじりが繰り出し、8万人とも言われる多くの参拝者や見学者でにぎわいます。夏季大祭時の辰巳太鼓は宮入り後、最大の見せ場である「暴れ太鼓」を披露します。

辰巳太鼓は、太鼓台を上下に何度も揺り動かしてから、左右へ何度も横転させ、やぐらには4人の太鼓の打ち手(役手)の若人が乗り、太鼓台が地面に叩きつけられても太鼓を叩き続けます。

勇壮で豪快な「暴れ太鼓」は観客に熱狂と感動を与えます。



写真提供: 貴布禰太鼓地車保存会

築地だんじり祭り

尼崎市の築地は、寛文4年(1664年)に築地町として完成された人工の町場で、2年後に初島恵比寿神社(現・初島大神宮)が築地町の氏神として現在地に遷座(せんざ)されました。

毎年、初島大神宮の例祭が9月15日・16日に行われ、本一・本三・本五・小嶋・丸嶋・南浜・大官町の7町からだんじりが繰り出されます。初日の宵宮(よいみや)では、各町での曳行(えいこう)の後、夕方にパレードが行われ、夜の初島大神宮への宮入りがクライマックスとなります。2日目の本宮では、例祭の最大の見せ場である「山合わせ」が初島大神宮近隣の松島橋公園で行われます。「山合わせ」とは、向き合った2基のだんじりが、後ろのコマだけで立ち上がり、肩背棒を高く上げて正面からぶつかり合い、着地したときに肩背棒を上に乗せたほうが勝ちというルールで行われる対戦で、迫力のある対戦に観客からは大きな拍手や声援が送られます。築地のだんじりは、肩背棒が前に長いところが特徴だそうです。

辰巳太鼓も築地だんじり祭りも迫力満点で見ごたえたっぷりですので、ぜひ、見に行ってくださいね！



明城小校区担当
みなみもと

中央北・南生涯学習プラザ 登録グループさんご紹介 vol.2

誰でも参加できます。
興味のある方は
中央地域課まで！

中央北

健康麻雀サークル中ちゅん



麻雀初心者でも大丈夫！経験者が優しく丁寧に教えてくれます。麻雀は長期戦の頭脳ゲームになります。一緒に卓を囲むメンバーは自然と会話が生まれ地域交流にも繋がっています。

楽しく健康的に麻雀を楽しみましょう！

第2・4火・土曜日 13:00～16:30

月会費：1,000円

水彩エコールド



絵を描くことが好きな仲間たちが、個性を大事に伸びやかな時間を過ごしています。メンバー同士の絵を鑑賞し、描き方を教えて合っています。

絵に関心のある方はのぞいてみて下さい。

第1～3木曜日 10:00～12:00

月会費：500円

中央南

くらしの書道



大人から子どもまで、一人ひとりに合わせて、「文字を書くことの楽しさ」を学べる指導をしていただけます。心を落ち着けて筆を取り、真っ白な紙に自分自身を表現してみませんか。

第1～3木曜日 10:00～12:00、13:00～16:00、
16:00～18:00、18:00～20:00

月会費：3,500円（小学生以下は2,300円）

ドリームサークル



10名ほどで和気あいあいとフォークダンスを学んでいます。基本的なステップから音楽に合わせた動きまで丁寧に教えてくれます。初心者大歓迎。身体を動かすきっかけに参加してみませんか（^^）

第1～3火曜日（変更の場合あり）14:00～16:00

月会費：3,000円

中央北・南生涯学習プラザのここがすごい！

中央北は音響・照明がすごい！

梅プラザ（中央北生涯学習プラザ）には、なんと！！大ホール（定員400人）・小ホール（定員200人）の素敵なホールが2つあります。

音響・照明などの設備は、プロ仕様に近い設備を有し、ゆったりとした舞台を使って、コンサート、演劇、落語など幅広い用途や人数によってホールを選択することができます。

舞台袖にある照明操作盤で、青・赤・橙など8種類の色の設定ができるほか、ホール後方の操作室では、なんと！1,000シーンの照明の組み合わせが可能です。

見学だけでも構いませんので、お気軽に窓口スタッフにお声掛けください。お待ちしております。



大ホール客席からの眺め

←大ホール舞台からの眺め



小ホール客席からの眺め



照明操作盤

中央南は茶室がすごい！

中央南生涯学習プラザには「大広間（和室）」とは別に「茶室」があります。「にじり口」と呼ばれる低い入口や茶室へ向かう「内露地（うちろじ）」など本格的な仕様の造りで、他のプラザにはない唯一の貸室です。

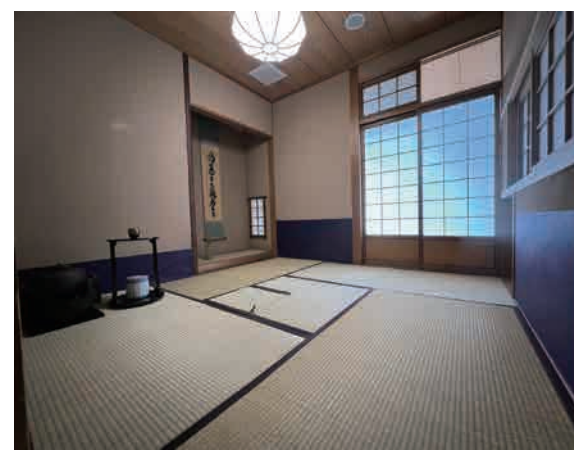
9月にはお茶の先生が点（た）てたお茶とお菓子をいただく「茶道体験会」が実施され、「こんな

本格的な茶室があるなんて知らなかった」と参加者の方は驚いていました。

日々忙しく、騒がしい日常ですが、少し心を落ち着けて、静かな空間でお茶をいただき、そんな心豊かな時間を過ごしてみませんか。今後も茶室での講座やイベントを実施していきますので、ホームページ等をチェックしてくださいね。



茶室へ向かう通路



茶室

